

提出書

平成〇〇年〇月〇日

徳島県知事 殿

提出者 住所 徳島市〇〇町〇〇番地
氏名 株式会社徳島〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇 印

徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例第25条第1項（第4項），同条第3項（同条第5項において準用する場合を含む。）又は第26条第1項（第2項）の規定により，次の書類を提出します。

提出書類	<input type="checkbox"/> 温室効果ガスの排出削減計画書	計画期間 年度～ 年度
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施状況等報告書	報告対象年度 29 年度
連絡先	担当部署 名 称	株式会社徳島〇〇 徳島事業所
	所在地	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 徳島市〇〇町△△番地
連絡先	担当者名	環境担当課 〇〇 〇〇
	電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
	ファクシミリ番号	〇〇〇-〇〇〇-××××
	電子メールアドレス	×××@△△△.jp ※中小排出事業者のみ記載 (特定事業者は全て公表)
提出書類の内容の公表に関する同意		<input checked="" type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない

備考

- 提出者の氏名（法人にあっては，代表者の氏名）を自署する場合は，押印を省略することができる。
- 「提出書類」欄は，該当する□にレ印を記入すること。
- 「報告対象年度」とは，この報告書を提出する年度の前年度をいう。
- 中小排出事業者にあっては，「提出書類の内容の公表に関する同意」欄は，該当する□にレ印を記入すること。

様式第3号 (第11条関係)

(表)

実 施 状 況 等 報 告 書			報告対象年度	29 年度			
事業者 の区分	<input type="checkbox"/> 特定事業者 (原油換算エネルギー使用量が1,500キロリットル以上の者) <input type="checkbox"/> 特定事業者 (自動車運送事業を行う者) <input type="checkbox"/> 特定事業者 (自家用貨物自動車による貨物の輸送を行う者) <input checked="" type="checkbox"/> 中小排出事業者 (特定事業者以外の事業者)						
氏名又は 名称	株式会社徳島〇〇						
住所又は主たる 事務所の所在地	徳島市〇〇町〇〇番地						
主たる 業種	〇〇〇〇 ※日本標準産業分類における細分類を記載						
計画期間	29 年度 ~ 31 年度						
温室効果ガスの排出削減計画書に基づく措置の実施状況	〇〇工場において設備点検を実施したほか、省エネ診断等を活用して設備の運用改善を図り、運用マニュアルの更新を行った。						
事業活動に伴う温室効果ガスの排出状況及び削減目標の達成状況	区 分	報告対象年度		目 標 年 度			
	排 出 量	①	8,450 t-CO ₂	8,350 t-CO ₂			
	削 減 率	<input type="checkbox"/> 排出量ベース	%		%		
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位ベース	1.1 %		3.5 %		
	原単位の用いた指標及び設定方法	CO2排出量(8,450t-CO2)/生産数量(〇〇t)					
森林吸収源対策等による温室効果ガスの吸収量及び削減量	区 分	報告対象年度 (実績)			目 標 年 度 (計 画)		
		取 組 量 等	吸収量又は削減量	取 組 量 等	吸収量又は削減量		
	森林の整備及び保全	整備面積	2.40ha	12 t	整備面積	7.20ha	35 t
	J-クレジットの購入	購入量		t	購入量		t
	グリーン電力証書の購入	購入量	kwh	t	購入量	kwh	t
	グリーン熱証書の購入	購入量	GJ	t	購入量	GJ	t
	再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 供 給	売電量	kwh	t	売電量	kwh	t
		熱供給量	GJ	t	熱供給量	GJ	t
	そ の 他	()		t	()		t
	吸収量及び削減量の合計	②	12 t		35 t		

(裏)

差 引 排 出 量	基 準 年 度 排 出 量 ③	8, 5 0 0 t-CO ₂
	報 告 対 象 年 度 差 引 排 出 量 (①-②) ④	8, 4 3 8 t-CO ₂
	削 減 率 ((③-④) / ③)	0. 7 %
排 出 実 績 に 対 す る 自 己 評 価	空調・給湯設備の運用改善により原単位は前年度比〇%減少したが、生産量増加により総排出量は〇%削減にとどまったため、次年度は、さらに徹底した省エネの実施に努めたい。 ※実施した温室効果ガス排出抑制に係る対策及び効果、課題、排出量の増加要因等を記載	
地 域 に お け る 温 室 効 果 ガ ス の 削 減 へ の 貢 献 に 関 す る 事 項	環境教育として、小中学校への出前授業(2回)及び工場見学会(1回)を実施 地元の森林育成のため、植林・植栽活動に参加したほか、〇〇市に対して 苗の寄付を〇〇本を行った。	
そ の 他 温 室 効 果 ガ ス の 排 出 の 抑 制 等 に 関 す る 事 項	事務用品について、グリーン購入(〇%)を実施	
特 記 事 項	調整後排出量(基準年度8,599t-CO₂、報告年度8,548t-CO₂、目標年度8,446t-CO₂)	

備考

- 1 「事業者の区分」欄及び「削減率」欄は、いずれか該当する口にレ印を記入すること。
- 2 「主たる業種」欄には、日本標準産業分類の細分類に従って事業名を記載し、2以上の業種に属する事業を行う事業者にあつては、そのうちの主たる事業を記載すること。
- 3 「報告対象年度」とはこの報告書を提出する年度の前年度をいい、「基準年度」とは計画期間の初年度の前年度をいい、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいう。

氏名又は名称		株式会社徳島〇〇					
工場等の名称							
工場等の住所又は所在地							
工場等の主たる用途		※報告年度 報告書を提出する年度の前年度					
提出書類の区分		記載年度		記載年度の区分			
<input type="checkbox"/> 温室効果ガスの排出削減計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 実施状況等報告書		29年度 (29年度～31年度)		<input type="checkbox"/> 基準年度(実績) <input type="checkbox"/> 目標年度(計画) <input checked="" type="checkbox"/> 報告年度(実績)			
温室効果ガス排出量			※実数値欄に <input checked="" type="checkbox"/>				
A 二酸化炭素の排出区分	エネルギー種別		単位	実数値	原油換算数量 (キロリットル)	二酸化炭素換算 数量(トン)	
	揮発油(ガソリン)		キロリットル	246	220	571	
	灯油		キロリットル				
	軽油		キロリットル				
	A重油		キロリットル	1,500	1,513	4,064	
	液化石油ガス(LPG)		(トン)	100	131	300	
	液化天然ガス(LNG)		()				
	都市ガス(CNGを含む。)		千立方メートル				
	産業用蒸気		ギガジュール				
	産業用蒸気以外の蒸気、温水、冷水		ギガジュール				
	電気	電気事業者	昼間買電	千キロワット時	3,950	1,016	2,571
			夜間買電	千キロワット時	1,450	347	944
		その他	()	千キロワット時			
	上記以外のエネルギー	()		()			
		()		()			
()		()					
計 ①		—	—	3,227	8,450		
他人への供給	売電		千キロワット時				
	()		()				
	計 ②		—	—	0	0	
合計 ③ (①-②)		—	—	3,227	8,450		
B その他のガス排出区分	温室効果ガスの種別		単位	実数値	二酸化炭素換算数量(トン)		
	二酸化炭素(CO ₂)		トン				
	メタン(CH ₄)		トン				
	一酸化二窒素(N ₂ O)		トン				
	パーフルオロカーボン(PFCs)		トン				
	ハイドロフルオロカーボン(HFCs)		トン				
	六ふっ化硫黄(SF ₆)		トン				
	三ふっ化窒素(NF ₃)		トン				
計 ④		—	—				
該当する排出源の名称							
合計 ③+④ ③は二酸化炭素換算数量に限る		8,450					

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。

2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。

3 産業用蒸気とは、熱供給事業者以外から供給を受ける蒸気をいいます。

4 電気事業者からの買電で、昼夜別契約をしていない場合は、全量昼間買電として計算してください。

5 自家発電は、「電気」の「その他」に実数値のみを記入してください。

6 燃料、蒸気、温水、冷水、電気を販売している場合は、「他人への供給」に実数値及び換算数量を記入してください。

7 「B その他のガス排出区分」の二酸化炭素は、別表第1の「2 非エネルギー起源」などを参考に二酸化炭素換算数量を計算してください。

8 第一種エネルギー管理指定工場等又は第二種エネルギー管理指定工場等を設置している場合は、事業者の内訳書の外、当該工場等毎の内訳書を添付してください。当該工場等毎の内訳書については、「工場等の名称」、「工場等の住所又は所在地」及び「工場等の主たる用途」を記入してください。

氏名又は名称	株式会社徳島〇〇						
工場等の名称	〇〇工場						
工場等の住所又は所在地	徳島市〇〇町×番地						
工場等の主たる用途	〇〇工場						
提出書類の区分	記載年度		記載年度の区分				
<input type="checkbox"/> 温室効果ガスの排出削減計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 実施状況等報告書	29年度 (29年度～31年度)		<input type="checkbox"/> 基準年度(実績) <input type="checkbox"/> 目標年度(計画) <input checked="" type="checkbox"/> 報告年度(実績)				
温室効果ガス排出量			※実数値欄に <input type="checkbox"/>				
A 二酸化炭素の排出区分	エネルギー種別	単位	実数値	原油換算数量 (キロリットル)	二酸化炭素換算 数量(トン)		
	揮発油(ガソリン)	キロリットル	246	220	571		
	灯油	キロリットル					
	軽油	キロリットル					
	A重油	キロリットル	1,500	1,513	4,064		
	液化石油ガス(LPG)	(トン)	100	131	300		
	液化天然ガス(LNG)	()					
	都市ガス(CNGを含む。)	千立方メートル					
	産業用蒸気	ギガジュール					
	産業用蒸気以外の蒸気、温水、冷水	ギガジュール					
	電気	電気事業者	昼間買電	千キロワット時	3,450	887	2,246
			夜間買電	千キロワット時	950	227	618
		その他	()	千キロワット時			
	上記以外のエネルギー	()	()				
		()	()				
()		()					
計 ①	—	—	2,978	7,799			
他人への供給	売電	千キロワット時					
	()	()					
	計 ②	—	—	0	0		
合計 ③ (①-②)	—	—	2,978	7,799			
B その他のガス排出区分	温室効果ガスの種別	単位	実数値	二酸化炭素換算数量(トン)			
	二酸化炭素(CO ₂)	トン					
	メタン(CH ₄)	トン					
	一酸化二窒素(N ₂ O)	トン					
	パーフルオロカーボン(PFCs)	トン					
	ハイドロフルオロカーボン(HFCs)	トン					
	六ふっ化硫黄(SF ₆)	トン					
	三ふっ化窒素(NF ₃)	トン					
計 ④	—	—					
該当する排出源の名称							
合計 ③+④	③は二酸化炭素換算数量に限る			7,799			

- 注 1 該当する口には、レ印を記入してください。
- 2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。
- 3 産業用蒸気とは、熱供給事業者以外から供給を受ける蒸気をいいます。
- 4 電気事業者からの買電で、昼夜別契約をしていない場合は、全量昼間買電として計算してください。
- 5 自家発電は、「電気」の「その他」に実数値のみを記入してください。
- 6 燃料、蒸気、温水、冷水、電気を販売している場合は、「他人への供給」に実数値及び換算数量を記入してください。
- 7 「B その他のガス排出区分」の二酸化炭素は、別表第1の「2 非エネルギー起源」などを参考に二酸化炭素換算数量を計算してください。
- 8 第一種エネルギー管理指定工場等又は第二種エネルギー管理指定工場等を設置している場合は、事業者の内訳書の外、当該工場等毎の内訳書を添付してください。当該工場等毎の内訳書については、「工場等の名称」、「工場等の住所又は所在地」及び「工場等の主たる用途」を記入してください。

氏名又は名称		株式会社徳島〇〇					
工場等の名称							
工場等の住所又は所在地							
工場等の主たる用途							
提出書類の区分		記載年度		記載年度の区分			
<input type="checkbox"/> 温室効果ガスの排出削減計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 実施状況等報告書		31 年度 (29 年度 ~ 31 年度)		<input type="checkbox"/> 基準年度 (実績) <input checked="" type="checkbox"/> 目標年度 (計画) <input type="checkbox"/> 報告年度 (実績)			
温室効果ガス排出量							
A 二酸化炭素の排出区分	エネルギー種別		単位	実数値	原油換算数量 (キロリットル)	二酸化炭素換算 数量 (トン)	
	揮発油(ガソリン)		キロリットル	231	206	536	
	灯油		キロリットル				
	軽油		キロリットル				
	A 重油		キロリットル	1,500	1,513	4,064	
	液化石油ガス(LPG)		(トン)	100	131	300	
	液化天然ガス(LNG)		()				
	都市ガス(CNGを含む。)		千立方メートル				
	産業用蒸気		ギガジュール				
	産業用蒸気以外の蒸気、温水、冷水		ギガジュール				
	電気	電気事業者	昼間買電	千キロワット時	3,900	1,003	2,539
			夜間買電	千キロワット時	1,400	335	911
		その他	()	千キロワット時			
	上記以外のエネルギー	()		()			
		()		()			
()		()					
計 ①			—	—	3,188	8,350	
他人への供給	売電		千キロワット時				
	()		()				
	計 ②			—	—	0	0
合計 ③ (①-②)			—	—	3,188	8,350	
B その他のガス排出区分	温室効果ガスの種別		単位	実数値	二酸化炭素換算数量 (トン)		
	二酸化炭素(CO ₂)		トン				
	メタン(CH ₄)		トン				
	一酸化二窒素(N ₂ O)		トン				
	パーフルオロカーボン(PFCs)		トン				
	ハイドロフルオロカーボン(HFCs)		トン				
	六ふっ化硫黄(SF ₆)		トン				
	三ふっ化窒素(NF ₃)		トン				
計 ④			—	—			
該当する排出源の名称							
合計 ③+④ ③は二酸化炭素換算数量に限る						8,350	

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。

2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。

3 産業用蒸気とは、熱供給事業者以外から供給を受ける蒸気をいいます。

4 電気事業者からの買電で、昼夜別契約をしていない場合は、全量昼間買電として計算してください。

5 自家発電は、「電気」の「その他」に実数値のみを記入してください。

6 燃料、蒸気、温水、冷水、電気を販売している場合は、「他人への供給」に実数値及び換算数量を記入してください。

7 「B その他のガス排出区分」の二酸化炭素は、別表第1の「2 非エネルギー起源」などを参考に二酸化炭素換算数量を計算してください。

8 第一種エネルギー管理指定工場等又は第二種エネルギー管理指定工場等を設置している場合は、事業者の内訳書の外、当該工場等毎の内訳書を添付してください。当該工場等毎の内訳書については、「工場等の名称」、「工場等の住所又は所在地」及び「工場等の主たる用途」を記入してください。

氏名又は名称		株式会社徳島〇〇			※指定工場等を設置している場合は、 当該工場等毎の内訳書を添付		
工場等の名称		〇〇工場					
工場等の住所又は所在地		徳島市〇〇町××番地					
工場等の 主たる用途		〇〇工場					
提出書類の区分		記載年度		記載年度の区分			
<input type="checkbox"/> 温室効果ガスの排出削減計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 実施状況等報告書		31年度 (29年度～31年度)		<input type="checkbox"/> 基準年度(実績) <input checked="" type="checkbox"/> 目標年度(計画) <input type="checkbox"/> 報告年度(実績)			
温室効果ガス排出量							
A 二酸化炭素の 排出区分	エネルギー種別		単位	実数値	原油換算数量 (キロリットル)	二酸化炭素換算 数量(トン)	
	揮発油(ガソリン)		キロリットル	231	206	536	
	灯油		キロリットル				
	軽油		キロリットル				
	A重油		キロリットル	1,500	1,513	4,064	
	液化石油ガス(LPG)		(トン)	100	131	300	
	液化天然ガス(LNG)		()				
	都市ガス(CNGを含む。)		千立方メートル				
	産業用蒸気		ギガジュール				
	産業用蒸気以外の蒸気、温水、冷水		ギガジュール				
	電気	電気事業者	昼間買電	千キロワット時	3,400	875	2,213
			夜間買電	千キロワット時	900	215	586
		その他	()	千キロワット時			
	上記以外のエネルギー	()		()			
		()		()			
		()		()			
	計 ①		—	—	2,940	7,699	
他人への 供給	売電		千キロワット時				
	()		()				
	計 ②		—	—	0	0	
合計 ③ (①-②)		—	—	2,940	7,699		
B その他の ガス 排出区分	温室効果ガスの種別		単位	実数値	二酸化炭素換算数量(トン)		
	二酸化炭素(CO ₂)		トン				
	メタン(CH ₄)		トン				
	一酸化二窒素(N ₂ O)		トン				
	パーフルオロカーボン(PFCs)		トン				
	ハイドロフルオロカーボン(HFCs)		トン				
	六ふっ化硫黄(SF ₆)		トン				
	三ふっ化窒素(NF ₃)		トン				
	計 ④		—	—			
該当する排出源の名称							
合計 ③+④ ③は二酸化炭素換算数量に限る						7,699	

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。

2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。

3 産業用蒸気とは、熱供給事業者以外から供給を受ける蒸気をいいます。

4 電気事業者からの買電で、昼夜別契約をしていない場合は、全量昼間買電として計算してください。

5 自家発電は、「電気」の「その他」に実数値のみを記入してください。

6 燃料、蒸気、温水、冷水、電気を販売している場合は、「他人への供給」に実数値及び換算数量を記入してください。

7 「B その他のガス排出区分」の二酸化炭素は、別表第1の「2 非エネルギー起源」などを参考に二酸化炭素換算数量を計算してください。

8 第一種エネルギー管理指定工場等又は第二種エネルギー管理指定工場等を設置している場合は、事業者の内訳書の外、当該工場等毎の内訳書を添付してください。当該工場等毎の内訳書については、「工場等の名称」、「工場等の住所又は所在地」及び「工場等の主たる用途」を記入してください。